

= Match Report =

第75回 宮城県高等学校総合体育大会 サッカー競技

準決勝

2026年 6月 7日 (日)

10:00 kick off 会場(キューアンドエーススタジアムみやぎ)

聖和学園

高校

vs

東北

高校

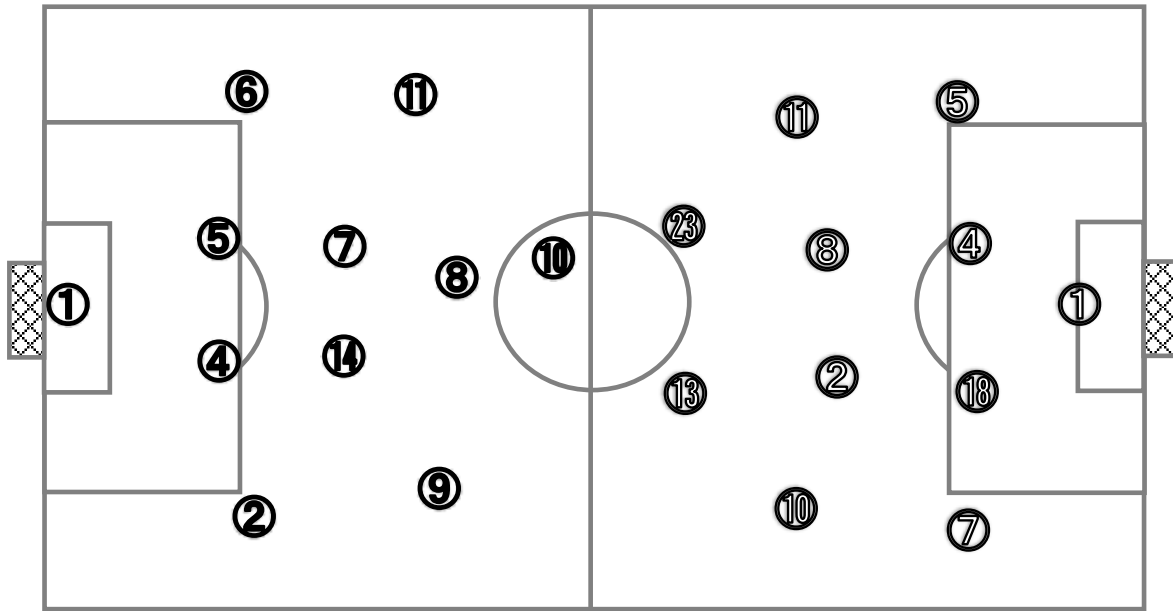
2

1 - 0
1 - 0

0

基本システム 1 - 4 - 5 - 1

基本システム 1 - 4 - 4 - 2



【Match Report】

第75回宮城県高校総体準決勝の第1試合は、聖和学園高校と東北高校のカードとなった。互いに明確かつ対照的なスタイルを志向する両校がどのようにゲームを展開するか、競り合いからのセカンドボールをどちらが拾い続けられるかが勝敗を分けるカギとなる。

立ち上がりは両校とも相手の狙いを伺う落ち着いた展開となった。聖和学園は両サイドのMF⑨日下部・FW⑪高瀬を起点にした攻撃でゴールを目指す。一方の東北高校は高さのあるFW⑬引地にボールを集め、MF⑩高橋やFW⑭鈴木が前を向いて受けようと試みる。試合が動いたのは22分。右サイドの小気味よいパス交換から抜け出した聖和学園のMF⑭浅倉がゴール前へ球足の速いクロスを送ると、大外から走り込んだFW⑪高瀬が冷静に合わせて聖和学園が先制した。追う展開となった東北は守から攻への素早い切り替えで聖和学園の守備ブロックを突破したいが、聖和学園の1stプレスに阻まれてなかなか精度の高い縦パスを送ることができない。聖和学園が押す展開のまま前半が終了した。

後半も引き続き聖和学園がボールを握るかと思えたが、東北も右サイドのMF⑪花田ががいい形でボールを持つ展開が増えてくる。守備の面でも東北のGK①小玉を中心としたDF陣が最後まで体を張ってゴールを死守する。聖和学園は右サイドにスピード溢れるMF⑱河村を投入し、攻撃の活性化を図る。68分には聖和学園が左45度の好位置でFKを獲得。MF⑪高瀬が直接ゴールを狙うも、東北のGK①小玉が素晴らしい反応でセーブする。東北が前線に人とボールを集めた70+2分、空いた右サイドのスペースでボールを受けた聖和学園のMF⑱河村がドリブルでポケットまで侵入。マイナス気味のボールを受けたFW⑩鈴木が放ったシュートはGKの指先を掠めてゴールへ吸い込まれる。聖和学園の追加点奪取とともに試合終了のホイッスルが鳴った。集中力を切らさずに最後まで戦った東北高校の健闘を讃えるとともに、聖和学園高校の決勝での好ゲームを期待する。

記載責任者

所属(宮城県仙台向山高等学校)

氏名(

村上 謙造

)